

THE Y'S MEN'S CLUB OF NASU

# NETWORK NASU

CHARTERED 1995



那須ワイズメンズク

2023~2024年度 No.291

## 3 月報

那須クラブ会長 主題

「若者と共に」成長しよう



強調月間：CS・Green Project  
ワイズメネット

**今月の聖句** ヨハネによる福音書 17：21  
父よ、あなたがわたしの内におられ、わたしがあなたの内にいるように、すべての人を一つにしてください。彼らもわたしの内にいるようにしてください。(略)

### 3月第1例会(おおいに食べて、おおいに語ろう)

日時：3月14日(木)午後6時30分~8時30分  
場所：日本基督教団 西那須野教会 1階ホール  
内容：ユースリーダーとの食事会。例会を、リーダーが集まるまでに済ませて、食べることに集中しつつも、リーダーとの話を楽しむ。

司会 担当主事 平山 雄大  
開会点鐘  
会長挨拶 会長代理 田村 修也  
ワイズソング斉唱  
ワイズの信条  
聖書朗読・祈祷  
報告事項 YMCA・ワイズ  
リーダーの集合を待つ  
食前感謝 司会者  
西那須野教会の方々とワイズが準備した食事をしながら、歓談の時を持つ  
自己紹介  
ワイズより、平山担当主事の結婚祝いを贈呈  
YMCAの歌  
閉会点鐘

会費 メンバー 1,000円

参加者は、弁当の準備の都合があるので、3月9日(土)までに村田副会長(090-9095-4035)に連絡のこと

2023~2024年度 主題

国際会長：(IP) ウルリック・ラウリドセン(デンマーク)

「輝かそう、あなたの光を」

アジア太平洋地域会長：(AP) 利根川 恵子(川越)

「改革のための光となろう」

東日本区理事：(RD) 山田 公平(宇都宮)

「未来のために今、学びと気づきを！」

未来のために、自信を育み、真の喜びに出会う！」

北東部長： 大久保 知宏(宇都宮)

「クラブのミッションを育てよう」

### クラブ役員

会長：河野 順子  
副会長：村田 榮・田村 修也  
書記：藤生 強  
会計：村田 榮・鈴木 保江  
担当主事：平山 雄大  
ブリテン：田村 修也・村田 榮

### 2月例会データ(出席率：87.5%)

在籍者 8名  
出席者 6名 メネット2名 ゲスト2名 YMCAスタッフ1名 ユースリーダー4名 メーキャップ1名

### 3月 Happy Birthday

3/13 田村 修也メン

### ・4月第1例会(能登半島地震の災害支援活動報告、ごみ拾い活動)

日時：4月26日(金)午後6時~  
場所：日本基督教団西那須野教会2階ホール  
内容：那須赤十字病院より講師を招いて、公開講演会として実施

### ・5月第2(役員会)例会

日時：4月26日(金・祝)午後4時30分  
場所：西那須野教会

## 巻 頭 言

田村 修也

3月に入るとすぐに学校の卒業式を思い出すのかも知れない。公民館活動の一つとして「なつかしい歌を歌う会」を行なっている。毎週金曜日の午後2時から概ね1時間30分である。2005年から行って、メンバーがご自分で歌いたい歌を持ち寄って作った歌集を今も引き継いで歌っている。3月1日の例会では「贈る言葉」のリクエストがあった。2月の例会では「あおげば尊し」と「蛍の光」のリクエストがあった。今では殆ど歌われなくなった懐かしい歌である。毎月第1の例会では、その月に誕生日を迎える方々にやなせたかし作詞・いずみたく作曲の「誕生日はいいもんだ」と松田トシさんの「12の誕生日」のその月の歌を歌って祝い、その月らしいカードをプレゼントしている。この3月は私も誕生者の一人であった。いつものように誕生祝いのセレモニーが終わった時、ハプニングが起こった。それは何とメンバーの皆さんから色鮮やかな花々が咲き競っている花束ならぬフラワーアレンジメントの花籠がプレゼントされたのである。嬉しくて皆さんに感謝をした。その花鉢は我が家の玄関に飾ってある。我が家では2月早々に福寿草が咲き始めた。水仙の芽も出始った。厳しかった冬も峠を越して春を告げる使者が来てくれたのである。

マタイによる福音書6章に「野の花がどのように育つか、注意して見なさい。働きもせず、紡ぎもしない。しかし、言うておく。栄華を極めたソロモンでさえ、この花の一つほども着飾ってはいなかった。」と記されていますが、春の楽しみは何といっても山野草の花に出会えることです。これまでにセツブンソウが咲き、イヌノフグリが咲いていますが、コブシの花芽が大きくなる頃にはカタクリが咲き始め、ショウジョウバカマ、イチリンソウ、ニリンソウ、シュラン、水仙、オドリコソウ、ホトケノザ等々が咲き始めます。外へ出るのが楽しみになります。私は現職時代、県の単独で、各市町村1箇所ずつ都市近郊の保健休養施設を整備する事業を行なってきました。近くでは旧小川町三輪の「かたくりの里」、旧黒磯市では「稲荷山東那須野公園」の水仙等、旧西那須野町の「やまつつじ」等です。多くの山野草を楽しめるのは旧小川町の「かたくりの里」です。最盛期には多くの人々が来ますが、ぜひ一度は見に行くことをおすすめいたします。

○春雨のふりつぐ中にみづみづしく一日閉じたるかたくりの花（土屋文明）

○かたくりの若芽摘まむとはだら雪片岡野辺にけふ児等ぞ見ゆ（若山牧水）

3月です。時間をやりくりしてでも、早春の野山へ出かけましょう。沢山の出会いが待っているのですから。



2024. 2.15 2月例会（リーダー報告会）於：西那須野教会

## 2月第1例会(リーダー報告会)報告

田村、藤生、原田、平山、張、村田のメン、田村、村田のメネット、ゲスト：ユースリーダー4名、YMCAスタッフ1名、潘牧師ご夫妻、計15名

「リーダー報告会」をテーマに、那須YMCAユースボランティアリーダー4名をゲストに迎え、内1名が参加した「全国YMCAリーダー研修会」(以下全L研)の報告会を行いました。そして2023年度的那須Yリーダー会の活動報告を担当スタッフが行いました。

初めに「ちょん、こと矢部リーダーより、全L研への参加報告が行われました。全L研はYMCAが主催する「経験豊かなリーダーのための研修会」であり、2023年度は5月に2泊3日(会場：倉敷市自然の家)にて行われ、とちぎYからはちょんリーダーと宇都宮Y所属リーダーの2名が参加しました。全国から100名を超えるリーダーやスタッフの参加があったようで、『Youth must go on～見えていないものがほらそこに～』をテーマに行われました。初日の基調講演は『「モノの見方はいろいろあるよ」～絵本を通じて、自分と向き合い、自分の思いを伝えてみよう!』のタイトルで行われ、「絵本セラピー」の要素にて「モノの見方(視点)を変えると今まで見えなかった(気が付かなかった)ものが見える」を体感した様で、リーダーとして人間としての幅が広がる思いであったと報告がありました。

次のワークショップは「だっぴ」をテーマに行われ、「自分らしく生き方を選び、人と人がつながり支え合う社会をつくる」「様々な立場の人同士が、フラットに語らうことで、よりよく生きる可能性を見つける」を体感し、自分の殻を破って(脱皮)してリーダーとして人間としての幅が広がる思いがした様です。



2日目は6つあるワークショップから、

施設フィールドを使ってグループ内の交わりを持ち楽しみながら関係性を深めることをねらいとした「プロジェクトアドベンチャー」とアメリカ・フロストバレーYMCAで行われているリーダートレーニングを体感する「フロストバレー式リーダートレーニング」を選択し、「フロストバレー～」はとても刺激を受けた様で那須Yリーダーやワイズへ「講師

としてトレーニングを行ってほしいとの意見が聞かれるほどでした。

2泊3日という短い時間ではありますが、ちょんリーダーにとってかけがえのない経験であったことが伝わってきた報告となりました。

続いて武田とちぎYスタッフより、那須Yリーダー会の活動報告が行われました。4月に大学へ新入生リーダー勧誘、GWに北関東Y合同プレキャンプ(キャンプ体験)参加、キャンプにおける応急処置講習など行事の報告が行われ、また那須Yリーダーが活躍するとちぎYグループ活動やシーズンキャンプの様子も報告されました。例会ゲスト参加のリーダーからは、子どもたちとの活動はとても楽しく、また他Y合同プログラムは多くの刺激があったとの感想も聞かれました。

リーダーたちがプログラムに参加することによって、子どもたちの成長に寄与するだけでなく、リーダー自身の成長にもなっている様子を伺うことが出来ました。那須クラブとしてリーダーたちの成長をこれからも支えていくことを確認した例会となりました。

## 2024年3月第2例会(役員会)報告

日時：2月23日(金)午後1時30分～

場所：田村副会長宅

出席者：田村、村田、平山の各メンバー

田村メネット、

### 1. 河野会長の状態について

田村副会長より、河野会長の体調についての説明があり、当面の間、ケガの療養のため、例会等に出席ができないとのことを受けて、田村副会長を会長代理にすることを決めた。

### 2. 次年度の体制について

河野メンの状態を考えて、会長は、田村メン。河野メンは副会長としその他は現状のままとする。ただし、田村メンの現状を考えて、対外的な面では、村田副会長がサポートする。3月の次期会長研修会は欠席する。

### 3. 2月例会の振り返り

リーダー4名の参加。活発な意見交換ができた。素晴らしい例会であった。

### 4. 3月例会について

3月例会は、ユースリーダートンお食事会。食事の準備は西那須野教会の方とワイズが担当。「おおいに食べて、おおいに語ろう」とする。司会は平山担当主事。会費はメンバー・メネット1,000円。

5. 4月例会は、日赤の井戸沼さんをお迎えして、能登半島地震に支援の報告会を行う。日程については、河野会長と井戸沼さんで調整をしていただく。司会は、鈴木メンに依頼する。

6. 4月役員会は、3月22日（金）午後4時30分より行う。

7. その他

・平山担当主事の結婚祝い金を10,000円3月例会時に贈る。

・シタケ昆布の購入を4月下旬に行う。

### 三島開墾地での孤児教育事業—本郷定次郎の生涯—(5)

副会長 田村 修也

二十五年秋、本郷は泰輔を訪ね、入植条件の一つであった暁星園に対する百町歩の土地借用を迫った。泰輔は、百町歩の土地貸与は暁星園が土地を農業的に利用し、将来自立独立の見込みが立った時に限る。貸与期間は一期五ヶ年としたのも、開墾の成績如何によって更新するか否かは地主が決めると、開墾の怠惰を衝いて貸付を拒んだ。本郷はさらに十五町歩の売却を懇請したが、泰輔は永代貸付若しくは売渡しは断じてできぬと固く退けた。

暁星園に土地譲渡がされると思い込んだ本郷の希望的観測であったのか、貴族主義の泰輔は入植契約に譲渡の言質を与えることはなかったのである。

#### 三島開墾地での再出発

青木開墾での生活は、暁星園がキリスト教主義に立つ限り迫害が起こり、これがため子供達が泣くのに忍びなく涙をのんでこの地を去る決心をした。二十五年も暮れが迫った十二月十一日、八ヶ月間耐えてきた青木開墾を去って、三島弥太郎が主宰する三島開墾地に移った。

ここは西那須野駅から二軒、狩野村大字三島六十一番地(現三島)の三島開墾地内の一屋を借家した。明治十九年に長野県飯田町から移住した菊地うしえ老(九十八才)は三島開墾地の様子を次のように語っている。

三島さんの道路はまっすぐにつづいていた。真白な道路が印象的だった。当時三島農場には牛舎があって世話する人が二、三人居た。牛が逃げ出さないように牛堀をめぐらしてあった。赤阪を越すと富山村があって十文字で買物をしたり、相馬一平さんが家を建ててくれた。はじめは六畳一間の家が建った。横座を広くして炭俵、縄ないの夜業をした。水は事務所に貰いに行った。種子は事務所でくれた。「そば」をまけという。こやしをつけて馬をひいてきてくれ

た人がいた。こやしがないとなにも出来ないの…。風で逃げて行った人も多かった。顔目口が真黒で、誰かわからなかった。

暁星園の本郷さんには機織女が何人かいて農業は男が働いていた。子ども達は食べ物がないので、さつまをくれという。何を云うかと若い者がと云いながら分けてやった。幻燈会を開いてくれた。子供が大勢集まった。二階造りの家だった。

田上さん、吉田さん(三島村戸長・後三島農場管理人田上貞質、肇耕社株主吉田清皎)がここに町をつくと云って五畝づつ宅地を分けてくれた。毎日あちこちで建前が行なわれた。

こんな状況下にありながら、三島弥太郎が貸与してくれた二階造りの家は、郡役所を思わせる建物で、杉丸太の門柱に「那須野孤児暁星園」の表札を掲げた。弥太郎自身が留学中に入信したキリスト教徒のためもあって、よく定次郎の事業を理解してくれていたことは心強かった。大きな喜びと期待のうちに明治二十六年の正月を迎えることができた。

明治初年における育児事業は、各地に起こっている。先に述べた岡山孤児院よりさらに六十年昔には秋田県感恩講が慈善事業の組織化をはかり、今日においても「児童保育園」として続いている。定次郎と同時期に開園したものに群馬県に「上毛孤児院」がある。明治二十五年六月三十日宮内文作が友人横地源七郎と協力して起こした。旅館を経営する宮内は、資産もあり、仁侠の人でもあった。たまたま前橋に伝道に来ていた金尚雄が本郷定次郎と共に神田に栄屋(文具店)を開き、その利によって孤児の教育に尽くした経歴もあったので、金子に協力を願ったのであった。この二人ははからずも上野前橋と下野那須野において孤児教育に従事したことも奇しき関係と云わねばならない。(以下次号へ)

### 西那須野幼稚園だより

学校法人 西那須野学園

西那須野幼稚園

園長・理事長 福本 光夫

いつも、ベルマークの収集について、ご協力をいただきありがとうございます。ベルマーク委員・ボランティアの皆様にも日頃の活動を感謝します。今まで貯まっている点数の中から、「能登半島地震」に、3万点(3万円)分を贈ります。被災した教育関係施設の備品に使われます。過去には、「東日本大震災」、「熊本地震」にも同様にを行いました。被災された皆様の生活再建には、まだまだ時間がかかると思いま

す。ご協力いただいた義援金、お祈りとともに必要とされる支援をしていきたいと思ひます。

さて、H先生が参加した研修会の資料にカナダの「ケベックの(重大な)教訓」という中室牧子(慶応大学)先生の資料がありましたので、ご紹介します。

その内容は、「1997年にケベック州で行われた幼児教育利用料の引き下げによって保育所の利用の増加は、①母親の就業率を高めた。②子ども達が10代から20代になった後の非認知能力、健康、生活満足度、犯罪関与にマイナスの影響を与えた。特に男子に攻撃性や多動の問題が顕著であった(Baker et al 2019)。」というものです。

以前にも紹介したヘックマン(シカゴ大学・ノーベル経済学賞)の研究では、幼児教育が、その人の①幼児期だけでなく生涯にわたって良い影響を与える。②非認知能力の基礎が育まれるというものでした。

この研究結果よって、親の貧困が子どもに影響をあまり与えないように、イギリスでは、教育の部分である3時間/日、フランスでは4時間/日が無償化になっています。

日本では、幼稚園は幼児教育4時間/日が無償ですが、保育所は幼児教育4時間/日+保育7時間/日、最大11時間が無償化という、ケベック州と同じ就労支援になっていることが問題です。

以前の保育所は、親の仕事が休みで「保育に欠けない」場合は、利用できませんでした。ところが、戦後最大の保育制度改革で、職員配置基準を変えることなく、基礎自治体の差はあるのですが、親が、週3日4時間/日さえ働いていれば、週6日利用できる権利に変えています。また、0~2歳児の無償化をしている自治体もあります。この大切な時期において、保育の質の向上をと伴わない拡大は、子どもの愛着形成の機会を奪うことに拍車をかけそうです。それよりも、人員配置と保育者の処遇を改善して、質的に高い保育環境を子ども達に提供させないと、ケベック州と同じ結果が、日本全体に広がる可能性が高くなります。

## 聖園那須老人ホームたより

社会福祉法人 イースタービレッジ  
那須聖園老人ホーム  
施設長 薄井 高宏

日中の暖かい日差しが春の訪れを感じさせる今日この頃皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

この原稿を作成しています現在は、まだまだ名残

雪が降り、卒業式も間近というところですが。能登半島の地震で被災された方々がこの寒空の中、卒業を迎える年ごろの子供たちの姿を思い浮かべると胸が締め付けられる思ひです。逸早い復興を微力ながら願っております。

さて、年度も押し迫ってまいりまして、何かと忙しく動いている所ですが、その中でも、今月中には、解体が完了し、聖園那須老人ホームの一連の建て替え計画が完了します。工事も順調で、今後の天候不良がなければ、予定通りに完了する予定です。皆様から長い間のご支援とご声援のおかげでここまでこぎつける事が出来ました事をあらためて心から御礼申し上げます。また、今後ともご支援、ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

### 新しい施設に建替わるにあたり

聖園那須老人ホームでは、新しく個人契約入所を開始したいと思ひます。この制度は、生活にお困りの方々に住宅を供給する観点からのサービスで、措置入所で必要な条件や入所判定委員会の意見、市町の決定がなくても施設と入所を希望する方との契約で入所できるサービスです。契約にもいくつか条件や料金の違い、サービスにも違いがありますので、ご興味のある方は、下記連絡先までお問い合わせください。

また、新築にあたり、ご寄付も募っておりますので併せてご連絡ください。

### タオル寄付のお願い

聖園那須老人ホームでは、入所者の方々が生活する中で、様々な場面で使い切りの布(タオル)を使用しています。つきましては、皆様には、タオルの寄付をこれまで同様お願いできれば幸いです。

- ・新品、未使用、使用後は問いません。
- ・ハンドタオル、フェイスタオル、バスタオル、タオルケット等大きさも問いません。
- ・御年賀やご挨拶で頂いた物、未開封、開封後等問いません。
- ・切断や洗濯、消毒はこちらで行います。

## YMCAだより

【2月9日(金) ピンクシャツデーリーダートレーニング】

社会全体がいじめに対して「自分事として」向き合うこと、「傍観者にならないこと」がいじめられている人を救うことになるかと私たちは考えます。今年も各拠点がピンクに染まりました。また、今年は

2月9日に対面でユースリーダーたちが集まり「いじめが起きないためにはどうすればよいか」ということを「いじめ・差別を起こさないためにリーダー会はこうしたい！」と身近な集団であるリーダー会について思いを出し合い、一人ひとりが自分の思いそして感じたことについて語り合いました。



【2023年度スプリングプログラムが始まります!!】

「えがお満開!・新たな出会いの春!」を合言葉に2023年度とちぎYMCAスプリングプログラム申込が2月20日(金)13時から始まりました!今年も申込開始と同時にたくさんの申込がありました。最初のプログラムは3月23日(土)にとちぎYMCAサッカー大会があります。サッカー大会を皮切りに約1週間で5プログラムが行われます。それぞれのプログラムにおいて子どもたちとリーダーが出会い、今後の人生の礎となるような感動を子どもたちに届けていきます。

【とちぎYMCA・那須YMCA3月の予定】

- ・3/2(土) サタデークラブ@西那須野幼稚園(凧揚げ)
- ・3/3(日) とちぎYMCA大会@宇都宮市青少年活動センター
- ・3/9(土) サタデークラブ@西那須野幼稚園(凧揚げ)
- ・3/15(金) さくらんぼ幼稚園卒園式

- ・3/15(金) 西那須野幼稚園卒園式
- ・3/23(土) ~スプリングプログラム開始
- ・3/23(土) 第4回とちぎYMCAサッカー大会 @井頭公園

### ユースリーダーのつぶやき

1. 名前(リーダー名) 2. 学校名 3. 出身地 4. YMCAに入ったきっかけは? 5. 思い出に残った活動とその理由は? 6. 今後の進路は? 7. YMCAに一言

お休みします

## 2024 TOCHIGI YMCA スプリングプログラム



えがお満開! 新たな出会いの春!